

地域社会のために

高い公共性を有する鉄道事業を営む当社にとって、
 今後も持続的に発展していくためには沿線を中心とする地域社会との共生は重要な使命です。
 今後も当社では事業活動を通じて、地域社会に貢献できる活動を継続していきたいと考えています。

明日を担う世代のために

ALL KEIHAN サンクスフェスタ

京阪グループでは、お客さまへの感謝の気持ちをお届けするとともに、もっと京阪グループを身近に感じていただくため、「ALL KEIHAN サンクスフェスタ」を毎年開催しています。平成21年度は3つのイベントを開催しました。

● ファミリーレールフェア

平成21年10月18日にファミリーレールフェアを開催しました。寝屋川車両基地を開放し、日頃見ることができない工場内や車庫内を自由に見学いただきました。また、中之島駅から寝屋川車庫までの直通列車



ファミリーレールフェア

を運行させるなどさまざまなイベントを実施し、約1万3,500人のお客さまにご来場いただきました。

● 大津線感謝祭

平成21年10月31日に大津線感謝祭を開催しました。錦織車庫を開放し、施設、設備機器を自由に見学いただき、大津線に対する理解を深めていただいています。約3,500人のお客さまにご来場いただきました。



大津線感謝祭

● 京阪グループサンクスフェア

平成21年11月から平成22年3月末まで、京阪グループ各社がさまざまなイベントを実施しました。セールや抽選、ポイント還元などのイベントを行い、たくさんのお客さまに参加していただきました。

ちびっこアーティスト号

「ウキウキ☆わくわく『みんな大好き!!』京阪電車」のテーマに、沿線の小学生以下のお子さまから絵画2,722枚の応募がありました。最優秀賞2点と優秀賞166点を車内に展示し「ちびっこアーティスト号」として、平成21年11月7日～30日まで運転しました。初日には中之島駅で出発式を行い、最優秀賞の表彰とテープカットを実施しました。

また、駅長賞と入選作品を「ちびっこアーティストギャラリー」として淀屋橋駅など5駅で展示したほか、全作品をひらかたパークのイベントホールで展示しました。



ちびっこアーティスト号 ひらかたパークでの展示

子ども110番の駅の取り組み

平成17年4月から関西の鉄道事業者32社局と共同で「子ども110番の駅」に取り組み、現在京阪線全60駅、大津線4駅で実施しています。子どもが助けを求めてきた場合に保護し、子どもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。今では関西での取り組みが全国に広がり、北海道から九州まで172社局2,896駅(平成21年4月現在)で実施しています。



子ども110番の駅

学生への体験学習、見学会の実施(寝屋川車両工場)

当社では、地域社会から信頼される企業

を目指し、平成10年度より大阪府寝屋川市、門真市の全中学校を対象に車両工場での体験学習を実施しており、平成21年度には箕面市、高槻市からの参加を含めて計10校の受け入れを行いました。

また、工場見学会も随時実施しており、平成21年度には沿線の幼稚園や学校だけでなく、岩手県や長崎県といった遠方の高校の修学旅行のグループ学習など31団体、約1,000人の方を見学者としてお迎えしました。

参加後には、たくさんの感想文などをいただいています。



見学会

中学校・支援学校職業訓練の受け入れ(ひらかたパーク)

中学校、障がい者団体、自治体などに、職場体験学習の場を提供しています。これは当園のスタッフとともに実際の業務に就いていただき、華やかな表舞台を演出するために必要なさまざまな業務を実体験していただく取り組みです。平成21年度は32人の方が来園されました。

チャリティに参加(ひらかたパーク)

毎日新聞大阪本社社会部が実施する「第41回愛の手チャリティオークション」にオリジナルグッズ(ひらかたパークオリジナル入れ、1,800円相当)30個を提供しました。約300の企業・団体・個人からの協賛品は紙上オークションや会場オークション(バザー)で販売され、約224万円の収益となりました。「社団法人家庭擁護促進協会」(大阪府天王寺区)に196万円寄付されたほか、乳児院や児童養護施設などに各2万円が寄贈されました。